第４号　令和３年３月４日発行

品川区庁舎機能検討委員会　ニュース

第4回 品川区庁舎機能検討委員会が、令和3年1月22日（月）、書面開催されました。本紙では、新庁舎の機能について具体的な検討を行う「品川区庁舎機能検討委員会」の様子をお伝えしていきます。

委員会の概要

委員会は、開催方法を新型コロナウイルス感染症対策として、書面開催に変更しました。各委員より、第4回の検討テーマとなる「将来対応・経済性」「ユニバーサルデザイン」「ICT化やペーパーレス等の環境整備」「セキュリティ対策」について、ご意見をいただきました。

分類した機能	導入機能・検討の視点	▼第4回のテーマ
区民サービス	●窓口機能　●相談機能　●案内機能	●ユニバーサルデザイン ●ICT化やペーパーレス等の環境整備 ●セキュリティ対策
区民協働・交流	●協働・交流機能　●情報発信機能	
行政・議会	●執務機能　●会議機能　●議会機能	
防災	●災害対策本部機能 ●地域内輸送拠点機能 ●災害時の区民受け入れ機能 ●建物性能・バックアップ機能 ●防災普及啓発機能	
環境	●環境性能 ●省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用 ●周辺環境への配慮	
将来対応・経済性	●ライフサイクルコストの低減 ●将来の変化への柔軟な対応	

委員からの主な意見

求められる庁舎機能	（将来対応・経済性） 将来の変化に対応し、長時間有効に使い続けられる庁舎

○100 年や150 年といった長寿命を想定したライフサイクルコストの試算があっても良い。
○建築・電気・空調・給排水それぞれの管理対象物に耐用年数がある。修繕費は高くとも予算をしっかりつけないと維持できない。
○今後時代のニーズがどのように変化していくのか、想定内の進歩、想定外の進歩とフレキシブルに対応できる余力ある設計を希望。
○スペースの用途変更が容易な仕組みが必須。
○今後の人口減少やＡＩ・ＩＣＴ技術の進歩、また感染症対策等、予測困難な将来の変化や需要に対応できるユニバーサルレイアウトの採用が必要。

求められる庁舎機能	共通機能（ユニバーサルデザイン）

○性別や性自認のあり方に関わらず、気兼ねなく使えるジェンダーフリートイレの整備。
○庁舎単体として考えるよりも、庁舎までのアクセスを総体として捉える必要がある。
○平時と有事（災害時等）両方に通用するユニバーサルデザインが特に低層階においては必要。
○「書かない窓口」などソフト面のユニバーサルデザインは今後さらに拡充していく必要がある。

求められる庁舎機能	共通機能（ICT化やペーパーレス等の環境整備）

○ICT 強化の際は、庁舎内のみではなく、地域センター、小・中学校とのアクセスにも配慮して欲しい。
○アクセスポイントの拡大により自席以外でのパソコン等の利用が可能になった場合の情報管理は、より厳重なものが必要。
○区役所でもテレワークや在宅勤務を真剣に考えて取り入れた方が良い。

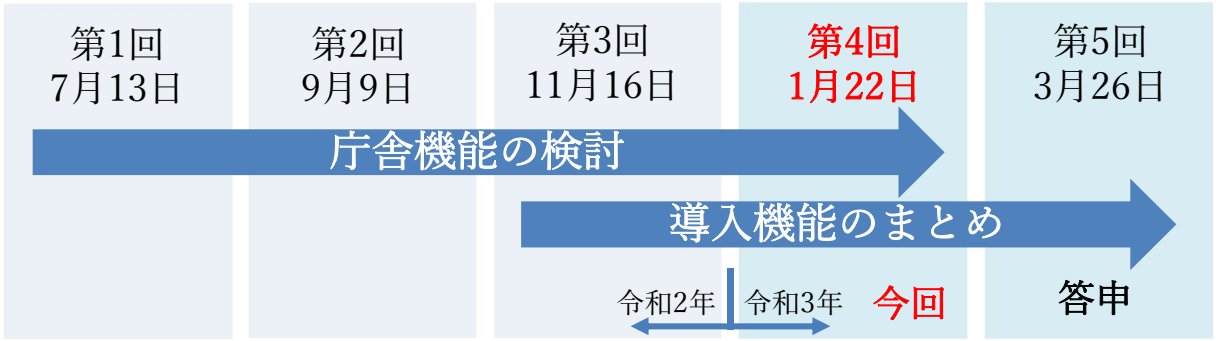
求められる庁舎機能	共通機能（セキュリティ対策）

○利用する区民や職員の心理的負担軽減のためにも、お互いの視線の角度や呼び出しの方法を徹底的に検討すべきかと思う。
○執務スペースなどは、視覚的に開放感を生むような工夫が必要。
○セキュリティ対策については安心、安全、衛生を踏まえると少し厳しいくらいで良い。
○事務処理を円滑に行い、情報の漏洩防止や災害時の情報保護を図っていくため、入退出などのセキュリティ対策を実施されたい。

早川委員長からのご意見

最終回となる第5回の答申にあたり、各委員から指摘のあった次の３つ課題への配慮も必要であるとのご意見をいただきました。①ＩＣＴ化を進めた場合のセキュリティの確保について、システム面でもフロアの配置の面でも留意が必要なこと。②ソフト面・ハード面双方において、本委員会で議論した導入機能を次の検討段階で深める必要があること。③広報による周知やワークショップなど区民参加を進める必要があること。

委員会の開催スケジュール



※委員会は全5回の開催を予定。

コラム

旧品川区役所庁舎前を走り抜ける東京オリンピックの聖火（昭和３９年１０月８日）

次回案内

第5回品川区庁舎機能検討委員会
日時：*3月26日*（金）午前10時00分～
場所：第一委員会室（区役所議会棟6階）
内容：導入機能のまとめ、答申
※第4回品川区庁舎機能検討委員会に関する資料はこちらから☞

お問い合わせ

品川区 総務部 経理課 庁舎計画担当
連絡先　電話：03-5742-7801
FAX：03-5742-6873
mail： keiri@city.shinagawa.tokyo.jp